

# NUBIC知的財産情報開示

開示日： 2009年11月10日

各位

NUBIC知的財産情報の要約をお届けいたします。  
尚、NUBICベンチャークラブ特別会員、一般会員にはすでにお知らせしています。

	NUBIC管理番号: <input type="text" value="2009000022"/>	整理番号 <input type="text" value="11325"/>	担当者 <input type="text" value="井上 典之"/>
表 題	<input type="text" value="即時重合レジン練和時に用いる紙製練和カップ"/>		
技術分野	<input type="text" value="生活・文化"/>	<input type="text" value="化学・薬品"/>	<input type="text"/>
適用製品	<input type="text" value="歯科治療時の即時重合レジン(練成プラスチック)練和カップ"/>		
目 的	<input type="text" value="歯科治療時に即時重合レジン(練成プラスチック)を用いることがあるが、紙製練和カップを用いて、練和(混合)を行うものである。"/>		

技術概要	<input type="text" value="歯科治療時に即時重合レジン(練成プラスチック)を用いることがあるが、従来の方法では即時重合レジンのモノマー(液)をシリコン製カップに入れ、それにポリマー(粉)を徐々に加えながら金属製スパチュラ(ヘラ)にて練和を行う。本発明は、紙製練和カップの中にモノマー(粉)を入れ、その上にポリマー(液)を垂らし、紙製練和カップを用いて、練和(混合)を行うものである。練和中、紙製練和カップ自体に練和物が付着しないことから操作性が良く、また紙製練和カップが余分なモノマーを吸収するため、すばやく適正な粉液比になり、練和後の固体が手に付着しにくいという利点もある。更に本法は、スパチュラを用いて練和を行わないことから、気泡の混入を防げ、物性的に良好な作製物を得ることが出来る。また、使い捨てにできることから、衛生的であるとも言え、医療用器具として最適と考えられる。"/>
------	---

技術移転等をご希望の場合は、下記事項をご記入の上、本用紙にてお申込みください。

(FAX, e-mail, 郵送いずれでも可。)

各担当コーディネーターからご連絡を差し上げます。

面談希望日時	<input type="text"/>		
(ふりがな) 氏 名	<input type="text"/>		
会社名	<input type="text"/>		
所 属	<input type="text"/>	役職	<input type="text"/>
電話番号	<input type="text"/>	FAX番号	<input type="text"/>
E-mail	<input type="text"/>		
連絡事項	<input type="text"/>		



【申込み・問い合わせ先】

日本大学産官学連携知財センター(NUBIC)

〒102-8275 東京都千代田区九段南4-8-24 日本大学会館

TEL:03-5275-8139 FAX:03-5275-8328 E-mail:nubic@nihon-u.ac.jp